

「情報公開文書」

研究課題名：

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）パンデミックによる当協会の胃 X 線検診への影響

研究責任者：

宮城県対がん協会 がん検診センター

浅沼 清孝

1. 研究の対象

当施設情報システム課で既にデータ化された 2018 年から 2021 年までの胃 X 線検診の受診者数

2. 研究目的・方法

背景・目的： 背景】 COVID-19 パンデミックに対して 2020 年 4 - 5 月に全国に向けて発出された緊急事態宣言下においては、集団で行うがん検診の多くが延期・中止された。宣言解除後、感染拡大予防対策を採りながら、がん検診は再開されたが、2020 年度通年のがん検診受診者数は大幅に減少した。本検討では当協会の胃がん検診における COVID-19 パンデミックの影響と受診数減少の要因について検討する。

方法： 2020 年度胃 X 線検診の受診者数を 2019 年度と比較し、検診時期の変更や検診実施方法を総合検診から単独検診に変更した影響について検討する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

2019 年度から 2020 年度における胃 X 線検診受診者数、実施自治体と実施時期、検診実施形態（総合検診/単独検診）

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

宮城県対がん協会 浅沼清孝

電話： 022-263-1525